

暗黒街の女（1958）

PARTY GIRL

メディア 映画
ジャンル 犯罪 ロマン스
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 99分
初公開日 1959/06/20
公開情報 大映
リバイバル 1996/04 [ヘラルド]

【解説】
'30年代のシカゴの大物ボス・リコ（L・J・コップ）のお抱え弁護士トミー（R・テイラー）は雇い主のパーティに呼ばれ、踊り子ヴィッキー（C・チャリシー）と恋に落ちるが、彼女にはボスもご執心だった。トミーには別居中だが離婚を承知しない妻がいて、繊細なヴィッキーはそれを気に病む。やがて、弁護中のリコの手下が証拠隠滅のため殺されたのを契機に、トミーは当局に組織の洗いざらいを告白し、ヴィッキーをリコの手から救い出そうと乗り込む。人気にかげりの見えていたテイラーが複雑なヒーローを好演。チャリシーの非ミュージカル（その要素はあるが）出演など、過渡期のMGMを体現するロマンチックなムードとハードボイルドの要素が違和感なく融合した得難い作品。ニコラス・レイの鋭敏な感性が光る。

【クレジット】

監督	ニコラス・レイ	Nicholas Ray
製作	ジョー・パスターナク	Joe Pasternak
原作	レオ・カッチャー	Leo Katcher
脚本	ジョージ・ウェルズ	George Wells
撮影	ロバート・ブロンナー	Robert Bronner
音楽	ジェフ・アレクサンダー	Jeff Alexander
出演	リー・J・コップ	Lee J. Cobb
	シド・チャリシー	Cyd Charisse
	ロバート・テイラー	Robert Taylor
	ジョン・アイアランド	John Ireland
	ケント・スミス	Kent Smith
	クレア・ケリー	Claire Kelly
	コーリイ・アレン	Corey Allen